より個別的な薬物治療を目指して

医療薬学　教授　宮本　篤

患者さんに最高のpharmaceutical care を提供し、患者さんのQOLを向上させることを目標として、薬物が投与された時どのような体内動態（吸収・分布・代謝・排泄）を示し、薬効（薬理作用）や副作用がどのように発現するかなどの従来からの医療薬学領域の基礎研究はもちろん、より良い薬物治療の提供を目指した臨床研究や次世代薬物療法の柱としてのオーダーメイド医療に重要な基礎および臨床研究を展開しています。

研究テーマ

1．　薬物体内動態関連遺伝子の多型解析研究

2．　薬剤誘発性QT延長症候群のリスク因子研究

3．　老化および老化に伴って生じる疾病での情報伝達変異研究

4．　心血管系細胞の情報伝達制御研究

研究内容の具体例

1．　薬物体内動態関連遺伝子の多型解析・連鎖不平衡・ハロタイプディプロタイプ解析研究

2．　薬剤誘発性QT延長症候群の病態とそのリスク因子等の調査研究

3．　老化および老化に伴って生じる疾病での情報伝達変異に関する分子薬理学的研究

4．　心血管系細胞の情報伝達制御に関する分子薬理学的研究